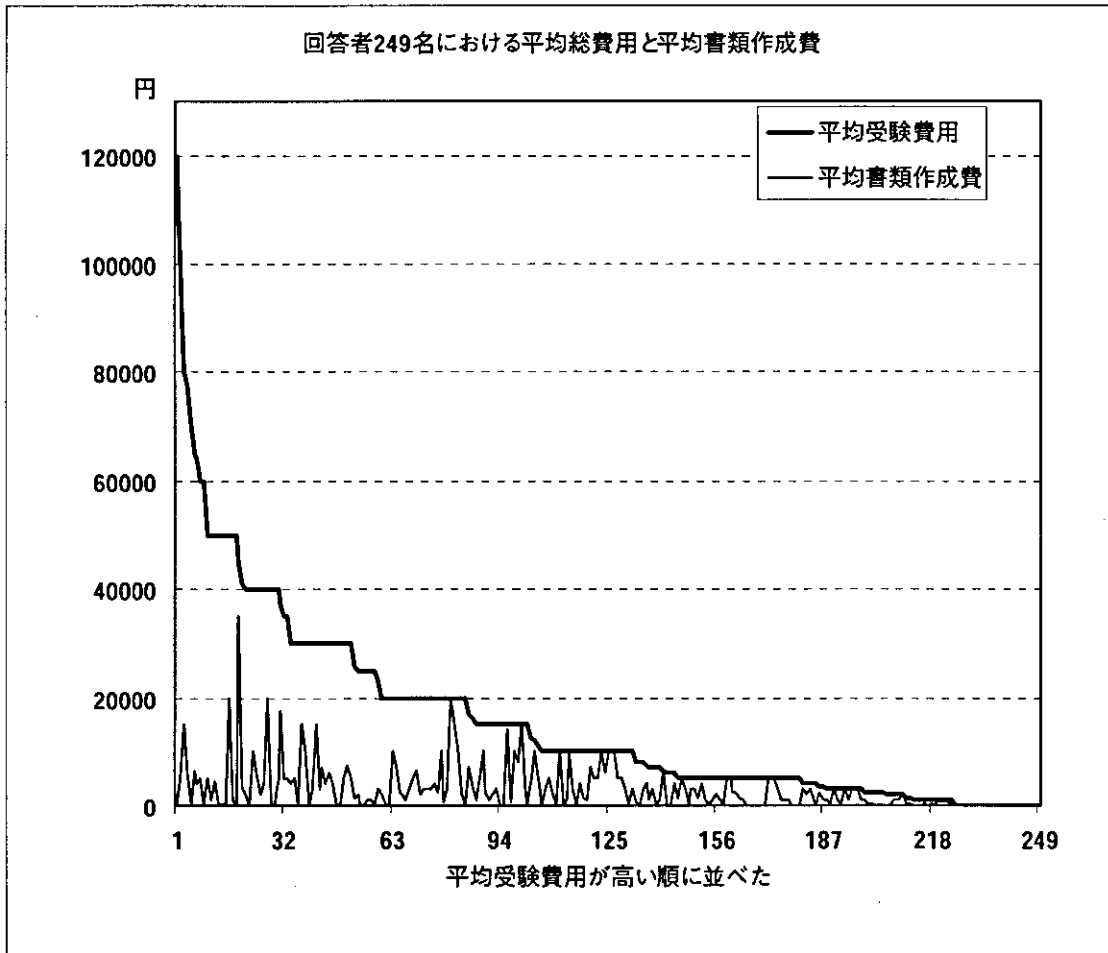


図表 2. 2. 14 平均受験費用と平均書類作成費

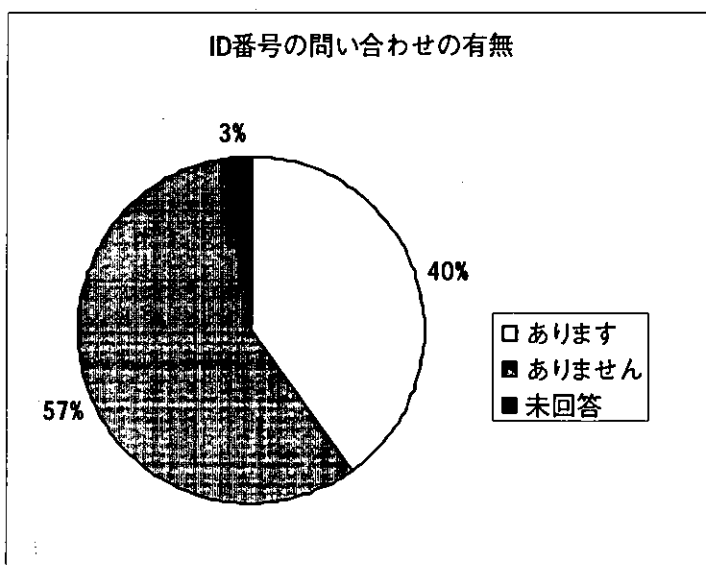


図表 2. 2. 14

図表 2. 2. 15a, b, c 参加者 ID 番号の問い合わせ

ID 番号の問い合わせの有無	回答数	%
あります	197	40%
ありません	281	57%
未回答	14	3%
計	492	100%

図表 2. 2. 15a



図表 2. 2. 15b

問い合わせの理由	回答数
受験者の登録のため	49
単に、教えてほしいといわれた	39
確認のため・念のため	36
マッチングしたか確認するため	12
順位決定のため	7
ID 番号が不明のため	7
指名するため	5
未回答	42
合計	197

注) 問合せを受けた 197 名の回答を集計

図表 2. 2. 15c

図表 2. 2. 16a, b 研修先希望順位表の提出

「真の希望順位登録が得策」であること	実際に登録した希望順位		計	%
	真の希望順位	真の希望順位と異った		
知っていた	338	13	351	73.4%
知らなかった	116	11	127	26.6%
計	454	24	478	100.0%
%	95.0%	5.0%	100.0%	

注) 未回答を除き集計

図表 2. 2. 16a

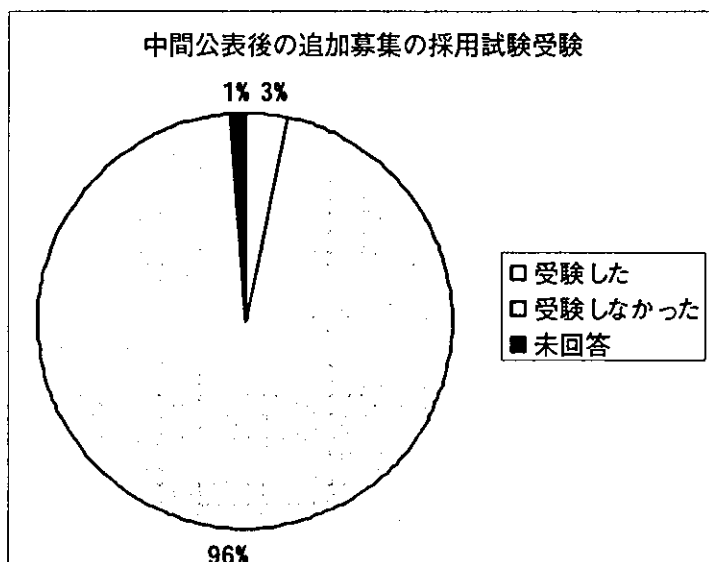
真の希望順位を変更した理由		回答数
「真の希望順位登録が得策」ということを知っていた場合	希望しても無理だろうと考えたため	4
	面接等の会話に基づく心情的理由や対人関係への配慮から	4
	希望順位を決めかねていた	1
	本来希望するプログラムに未確定な部分があったため	1
	生活環境などを考慮した上で	1
	試験後に、希望順位が当初のものと変わった	2
「真の希望順位登録が得策」ということを知らなかった場合	確実にマッチされたかったから	6
	希望しても無理だろうと考えた	2
	面接等の会話に基づく心情的理由や対人関係への配慮から	1
	希望順位を決めかねていた	1
	本来希望するプログラムに未確定な部分があったため	1

図表 2. 2. 16b

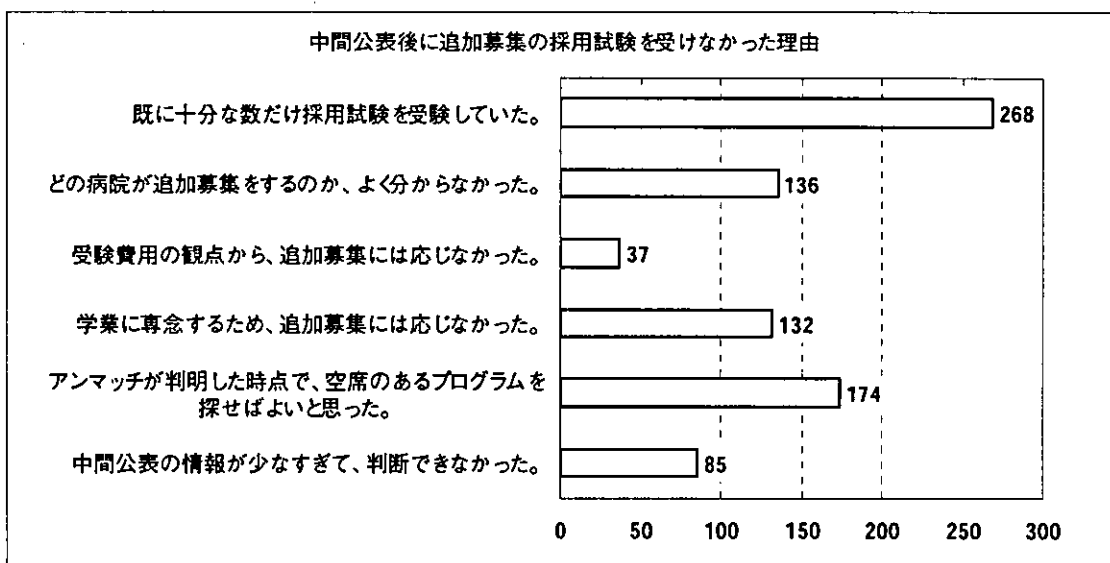
図表 2. 2. 17a, b, c 中間公表後の追加募集の採用試験受験

追加募集の採用試験	回答数	%
受験した	16	3%
受験しなかった	470	96%
未回答	6	1%
計	492	100%

図表 2. 2. 17a



図表 2. 2. 17b



注) 複数選択式の回答の集計

図表 2. 2. 17c

図表 2. 2. 18a, b, c マッチングの結果

マッチングの結果	回答数	%
マッチングでマッチしたため就職した	466	97. 5%
すべてアンマッチであったため、現病院での研修を自分で希望して就職した	12	2. 5%
計	478	100%

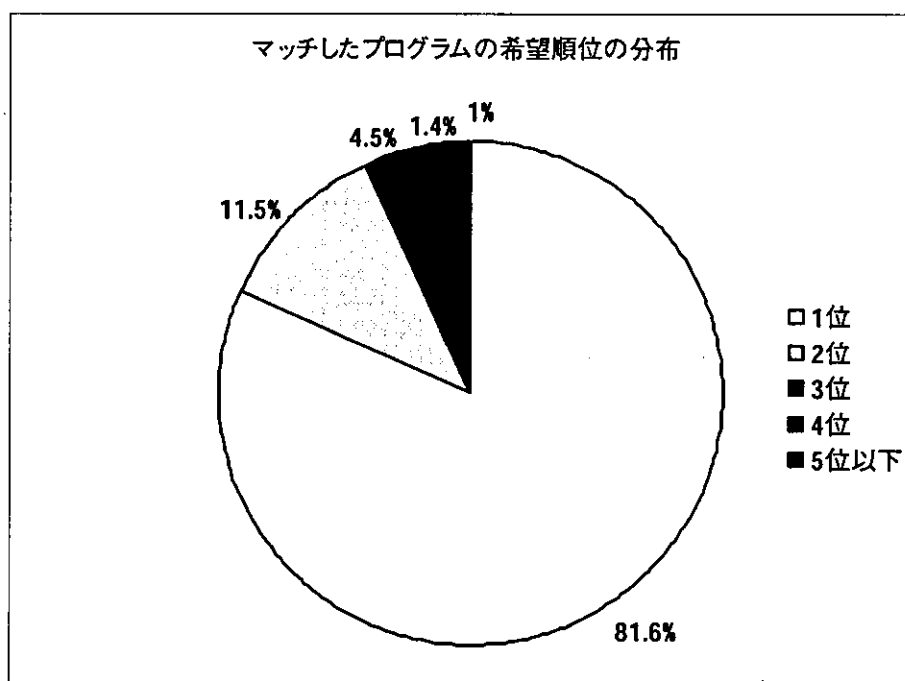
注) 未回答等を除き集計

図表 2. 2. 18a

現研修プログラムの希望順位	回答数	%
1位	342	81. 6%
2位	48	11. 5%
3位	19	4. 5%
4位	6	1. 4%
5位以上	4	1. 0%
計	419	100. 0%

注) 研修医マッチングでマッチした回答者 466 名について、未回答を除き集計

図表 2. 2. 18b



図表 2. 2. 18c

図表 2. 2. 19 登録プログラム数とマッチしたプログラムの希望順位

登録したプログラム数	マッチしたプログラムの希望順位					計	%
	1位	2位	3位	4位	5位以上		
1	84	1				85	20.5%
2	69	8		1		78	18.8%
3	67	11	2			80	19.3%
4	42	7	6	1		56	13.5%
5以上	76	21	11	4	4	116	28.0%
計	338	48	19	6	4	415	100.0%
%	81.4%	11.6%	4.6%	1.4%	1.0%	100.0%	

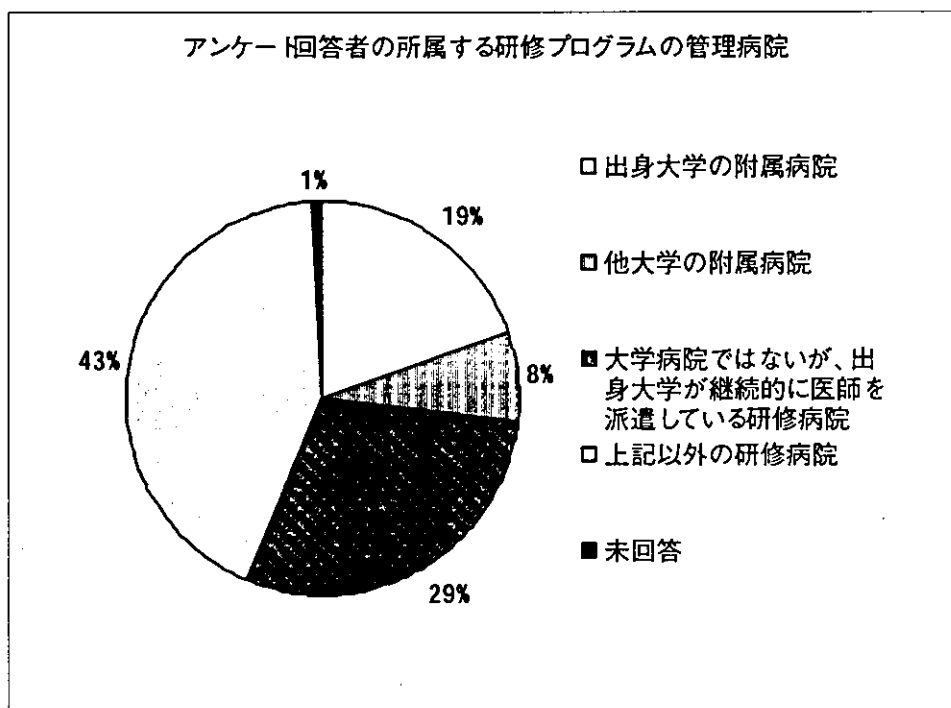
注) 回答の得られた 415 件について集計

図表 2. 2. 19

図表 2. 2. 20a, b 研修プログラムの管理病院の種別

研修プログラムの管理病院	回答数	%
出身大学の附属病院	95	19.3%
他大学の附属病院	38	7.7%
大学病院ではないが、出身大学が継続的に医師を派遣している研修病院	144	29.3%
上記以外の研修病院	211	42.9%
未回答	4	0.8%
計	492	100.0%

図表 2. 2. 20a



図表 2. 2. 20b

図表 2. 2. 21a-f 臨床研修後の進路の計画・希望

記述回答の区分	件数
未定とした回答（「未定」、「今後決定」等）	93
進路を1つ以上あげた回答	320
未回答	79
計	492

図表 2. 2. 21a

進路を1つ以上あげた回答 320件について	件数
後期研修を進路の1つとした回答	284
市中病院への就職を進路の1つとした回答（市中病院での後期研修の希望は書いてない）	51
大学院進学を進路の1つとした回答	17

注) 複数の区分に重複して含まれる回答もある。

図表 2. 2. 21b

後期研修を進路の1つとした回答 284 件について	件数
医局所属または市中病院での後期研修のいずれかを一方のみを希望、或いは、両者を検討中とした回答	258
単に「後期研修」とした回答	26
計	284

図表 2. 2. 21c

医局所属または市中病院での後期研修のいずれかを一方を希望、或いは、両者を検討中とした回答 258 件において				
医局への所属が	市中病院での後期研修が		計	%
	考慮されている	考慮されていない		
考慮されている	41	175	216	84%
考慮されていない	42		42	16%
計	83	175	258	100%
%	32%	68%	100%	

図表 2. 2. 21d

医局への所属を進路の1つとする回答 216 件において		件数
内	出身大学の医局を特に希望する回答	72
	出身大学以外の医局を特に希望する回答	19
市中病院での後期研修を進路の1つとする回答 83 件において		83
内	現在研修中の病院を特に希望する回答	33
	現在研修中の病院以外を特に希望する回答	8

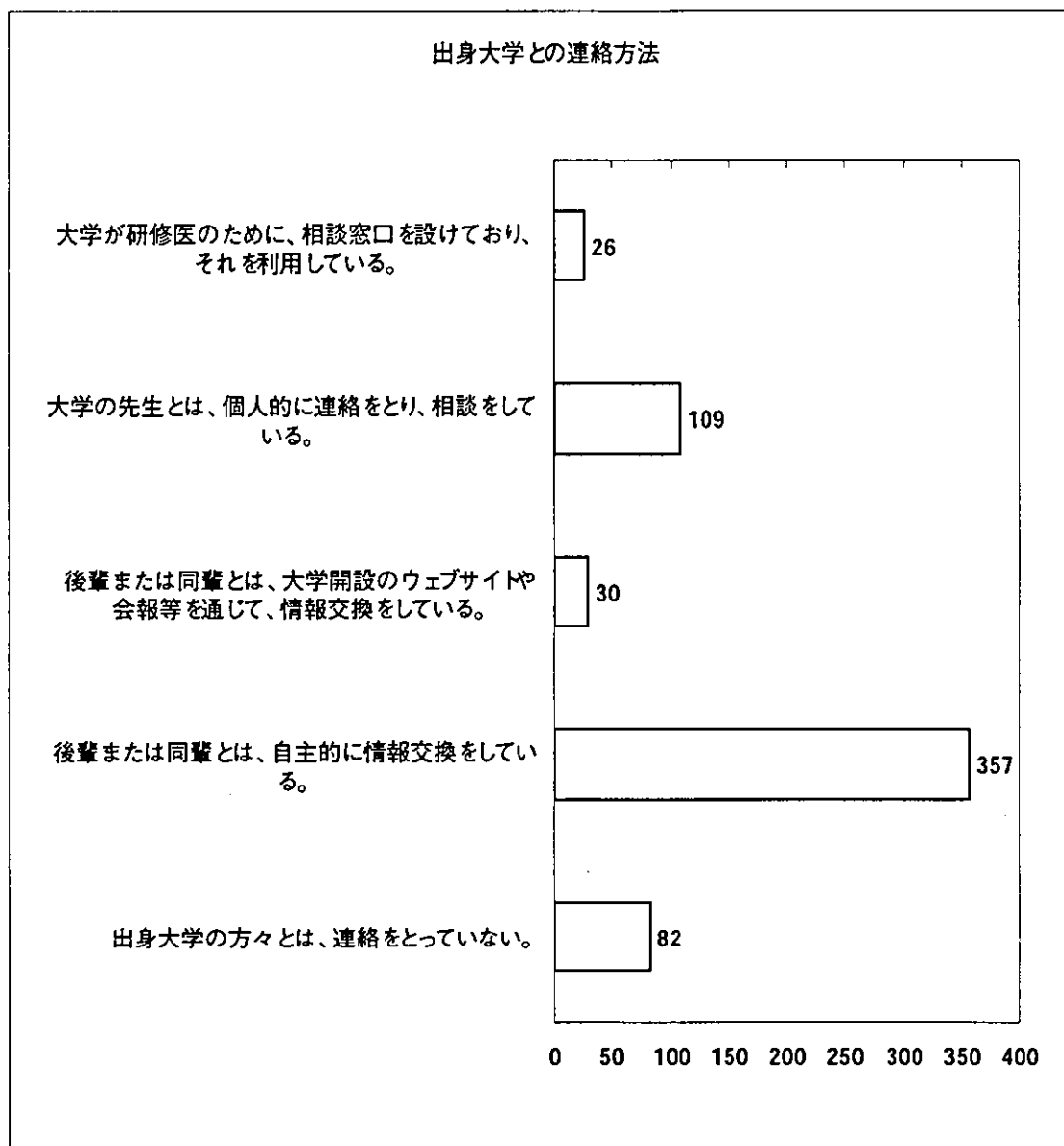
図表 2. 2. 21e

市中病院での後期研修希望は記していないが、市中病院への就職を進路の1つとした回答 51 件について		件数
内	特に、現在研修中の病院への就職を希望するもの	21
	特に、現在研修中の病院以外への就職を希望するもの	3

図表 2. 2. 21f



表 2. 2. 22 出身大学との連絡方法



図表 2. 2. 22

図表 2. 2. 23a, b 研修医マッチングがない場合の予想

研修医マッチングがない場合の予想項目	回答数
1 臨床研修医確保のための青田買いが起きるだろう。	192
2 卒業試験等、教育課程終盤の成績が重要なので、青田買いは起きないだろう。	9
3 臨床研修先決定のための学生の就職活動は、負担が増すだろう。	228
4 大学が、学生を臨床研修先に割り当ててくれるので、問題ないだろう。	40
5 大学病院以外の病院によるプログラムの提供が減少するだろう。	86
6 後期研修先決定にマッチング制度が導入されれば、問題はないだろう。	10

注) 複数選択式の回答の集計

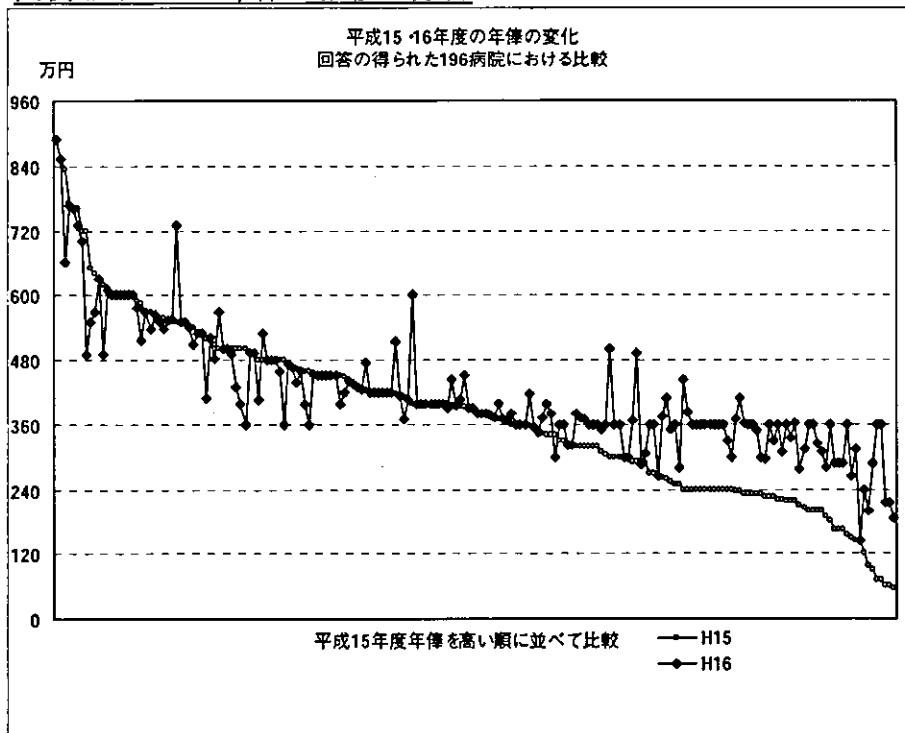
図表 2. 2. 23a

研修医マッチングがない場合の予想 (自由回答のまとめ)	回答数
学生の時間的負担が減る。	18
マッチングがなくても大丈夫と思う	12
特に大きな変化や問題はない	11
以前に戻るだけである。	9
出身大学や関連病院で研修する人が増えるだろう	8
重複合格が発生するため、病院・受験者双方の負担が増す	8
採用基準や手続きが不明瞭になる	7
学生の臨床研修意欲に格差が出る	5
研修プログラムの内容に格差が生じる	4
臨床研修制度の改革がすすまなくなる。	3
十分な情報供給がなされる、公平な制度が出来れば問題ないだろう。	3
大学入試のようになって、一人が複数合格する。そして、補欠合格や二次試験が行われる。	2
臨床研修制度も危うくなると思う。	2

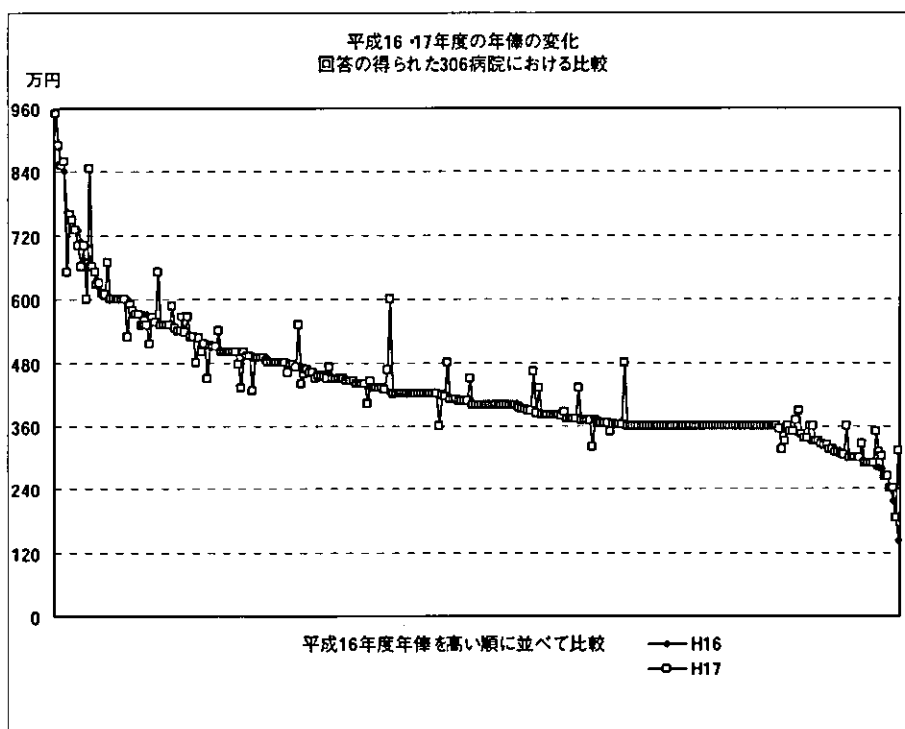
図表 2. 2. 23b

2.3. 本編D. 考察のための図表

図表 2.3. 1a-h 年俸の推移の分析



図表 2.3. 1a



図表 2.3. 1b

平成 15、16 年度年俸の両方について回答が得られた 196 病院の平均年俸	
平成 15 年度平均年俸	382.8 万円
平成 16 年度平均年俸	420.4 万円

図表 2.3.1c

平成 15、16 年度年俸の符号付順位和			
年俸の増減	件数	平均順位	順位和
16 年度 > 15 年度	90	75.55556	6800
16 年度 < 15 年度	39	40.64103	1585
16 年度 = 15 年度	67		
計	196		

注) 順位は差の絶対値の小さい順に 1 位から順位付けている

図表 2.3.1d

平成 15、16 年度年俸の差の有無に関する検定	
ウィルコクソン符号付順位和検定統計量	-6.129337345
有意確率 (両側検定)	8.82458E-10

図表 2.3.1e

平成 16、17 年度の年俸の両方について回答が得られた 306 病院の平均年俸	
平成 16 年度平均年俸	431.5 万円
平成 17 年度平均年俸	433.9 万円

図表 2.3.1f

平成 16、17 年度年俸の符号付順位和			
年俸の増減	件数	平均順位	順位和
17 年度 > 16 年度	35	34.31429	1229
17 年度 < 16 年度	29	28.17241	851
17 年度 = 16 年度	242		
計	306		

注) 順位は差の絶対値の小さい順に 1 位から順位付けている  
 図表 2.3.1g

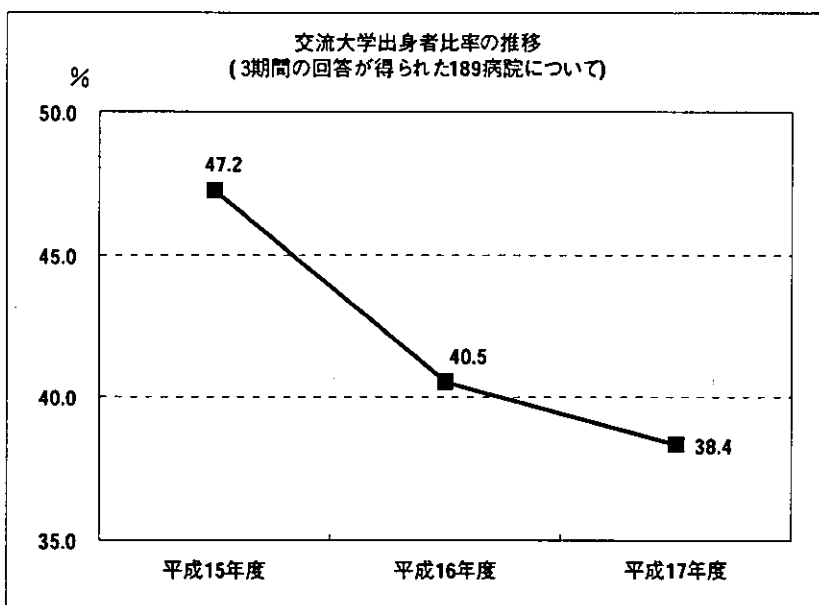
平成 16、17 年度年俸の差の有無に関する検定	
ウィルコクソン符号付順位和検定統計量	-1.26394
有意確率(両側検定)	0.206252

図表 2.3.1h

図表 2.3.2a-f 交流大学出身者率の推移の分析

平成 15、16、17 年度の回答が得られた 189 病院の平均交流大学出身者率	
平成 15 年度	47.2%
平成 16 年度	40.5%
平成 17 年度	38.4%

図表 2.3.2a



図表 2.3.2b

平成 15, 16 年度交流大学出身者率の符号付順位和			
交流大学出身者率の増減	件数	平均順位	順位和
16 年度 > 15 年度	46	51.47826	2434.5
16 年度 < 15 年度	73	63.09589	4705.5
16 年度 = 15 年度	70		
計	189		

注) 順位は差の絶対値の小さい順に 1 位から順位付けている

図表 2.3.2c

平成 15, 16 年度交流大学出身者率の差の有無に関する検定	
ウィルコクソン符号付順位和検定統計量	-3.01113
有意確率(両側検定)	0.002603

図表 2.3.2d

平成 16, 17 年度交流大学出身者率の符号付順位和			
交流大学出身者率の増減	件数	平均順位	順位和
17 年度 > 16 年度	57	64.80702	3756.5
17 年度 < 16 年度	71	62.26761	4499.5
17 年度 = 16 年度	61		
計	189		

注) 順位は差の絶対値の小さい順に 1 位から順位付けている

図表 2.3.2e

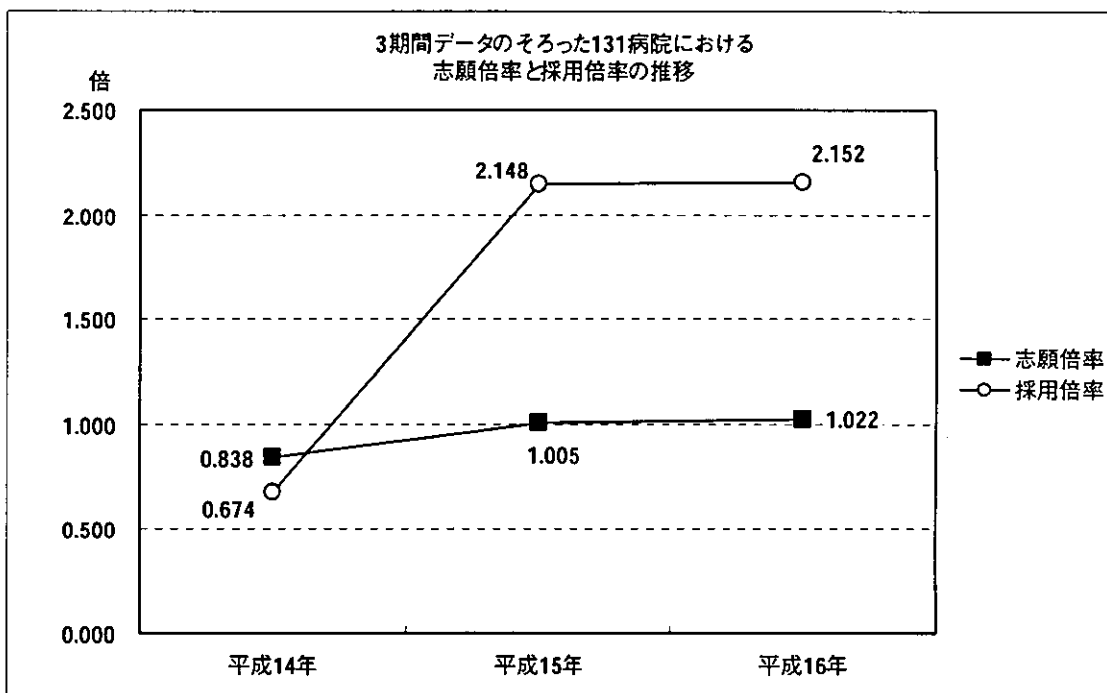
平成 16, 17 年度交流大学出身者率の差の有無に関する検定	
ウィルコクソン符号付順位和検定統計量	-0.88348
有意確率(両側検定)	0.376976

図表 2.3.2f

図表 2.3.3a-1 志願倍率、採用倍率の推移の分析

平成 14, 15, 16 年の回答が得られた 131 病院における志願倍率と採用倍率			
	平成 14 年	平成 15 年	平成 16 年
平均志願倍率	0.838	1.005	1.022
平均採用倍率	0.674	2.148	2.152

図表 2.3.3a



図表 2.3.3b

平成 14, 15 年志願倍率の符号付順位和			
志願倍率の増減	件数	平均順位	順位和
15 年 > 14 年	48	55.14583	2647
15 年 < 14 年	52	46.21154	2403
15 年 = 14 年	31		
計	131		

注) 順位は差の絶対値の小さい順に 1 位から順位付けている

図表 2.3.3c

平成 14, 15 年志願倍率の差の有無に関する検定	
ウィルコクソン符号付順位和検定統計量	-0.41948
有意確率(両側検定)	0.674869

図表 2.3.3d

平成 15, 16 年志願倍率の符号付順位和			
志願倍率の増減	件数	平均順位	順位和
16 年 > 15 年	51	60.04902	3062.5
16 年 < 15 年	57	49.53509	2823.5
16 年 = 15 年	23		
計	131		

注) 順位は差の絶対値の小さい順に 1 位から順位付けている

図表 2.3.3e

平成 15, 16 年志願倍率の差の有無に関する検定	
ウィルコクソン符号付順位和検定統計量	-0.36628
有意確率(両側検定)	0.714153

図表 2.3.3f

平成 14, 16 年志願倍率の符号付順位和			
志願倍率の増減	件数	平均順位	順位和
16 年 > 14 年	65	59.53077	3869.5
16 年 < 14 年	51	57.18627	2916.5
16 年 = 14 年	15		
計	131		

注) 順位は差の絶対値の小さい順に 1 位から順位付けている

図表 2.3.3g

平成 14, 16 年志願倍率の差の有無に関する検定	
ウィルコクソン符号付順位和検定統計量	-1.31271
有意確率(両側検定)	0.189281

図表 2.3.3h



平成 14, 15 年採用倍率の符号付順位和			
採用倍率の増減	件数	平均順位	順位和
15 年 > 14 年	94	55.57979	5224.5
15 年 < 14 年	10	23.55	235.5
15 年 = 14 年	27		
計	131		

注) 順位は差の絶対値の小さい順に 1 位から順位付けている

図表 2. 3. 3i

平成 14, 15 年採用倍率の差の有無に関する検定	
ウィルコクソン符号付順位和検定統計量	-8.08918
有意確率(両側検定)	6.66E-16

図表 2. 3. 3j

平成 15, 16 年採用倍率の符号付順位検定			
採用倍率の増減	件数	平均順位	順位和
16 年 > 15 年	59	59.18644	3492
16 年 < 15 年	51	51.23529	2613
16 年 = 15 年	21		
計	131		

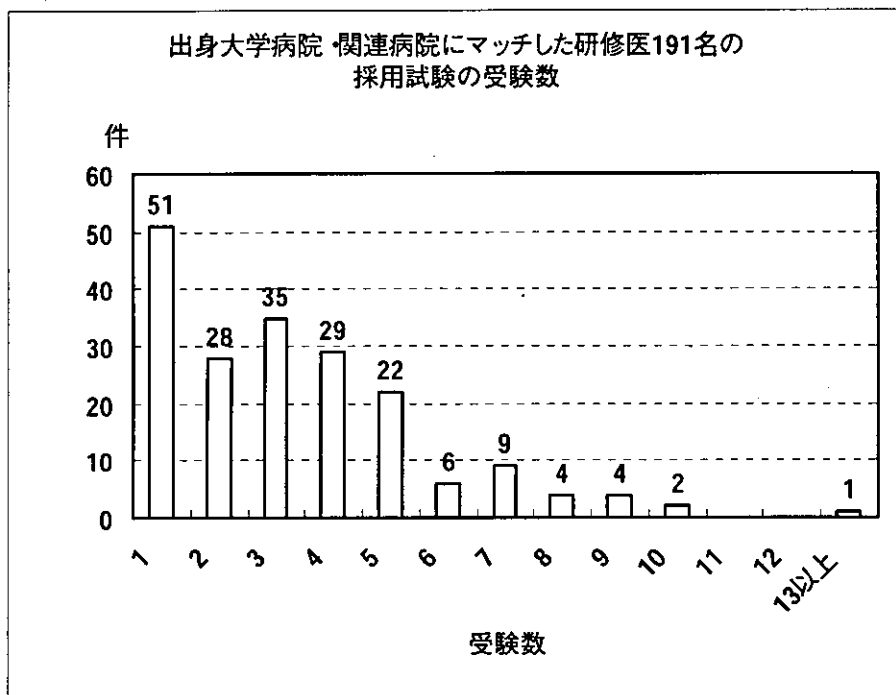
注) 順位は差の絶対値の小さい順に 1 位から順位付けている

図表 2. 3. 3k

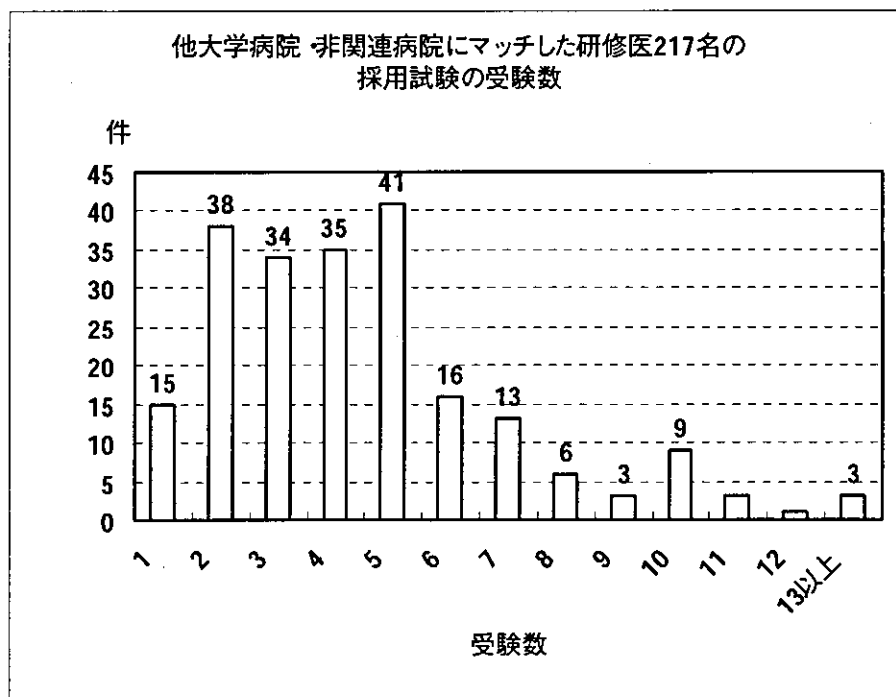
平成 15, 16 年採用倍率の差の有無に関する検定	
ウィルコクソン符号付順位和検定統計量	-1.31072
有意確率(両側検定)	0.189952

図表 2. 3. 3l

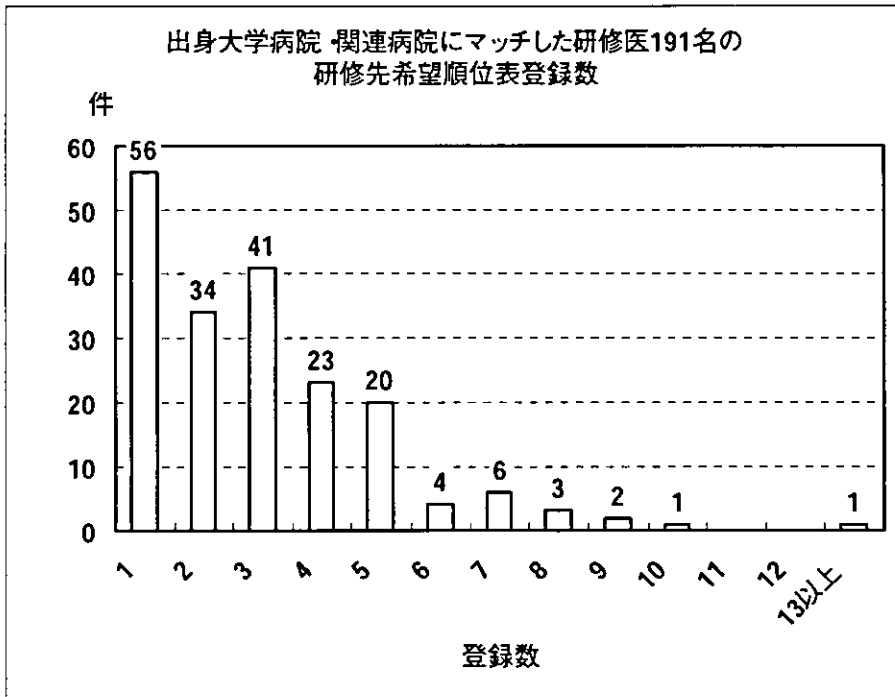
図表 2.3.4a-i 研修プログラムの受験数・登録数とマッチしたプログラムの実施病院の種別の分析



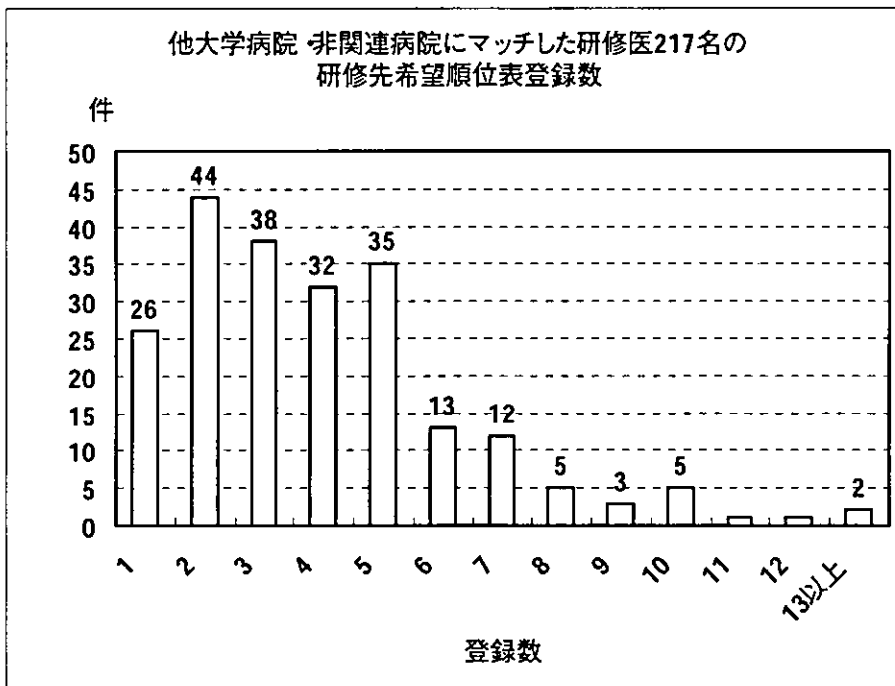
図表 2.3.4a



図表 2.3.4b



図表 2. 3. 4c



図表 2. 3. 4d

受験数と希望順位表登録数の平均			
マッチした病院	件数	平均受験数	平均登録数
A. 出身大学病院または関連病院	191	3.350785	2.994764
B. 他大学病院または非関連病院	217	4.506912	3.958525

図表 2.3.4e

受験数の順位和			
マッチした病院	件数	平均順位	順位和
A. 出身大学病院または関連病院	191	173.7519	33186.5
B. 他大学病院または非関連病院	217	231.5645	50249.5
計	408	205	83436

図表 2.3.4f

受験数の差の有無に関する検定	
ウィルコクソン順位和検定統計量	-4.994518824
有意確率 (両側)	5.89827E-07

図表 2.3.4g

登録数の順位和			
マッチした病院	件数	平均順位	順位和
A. 出身大学病院または関連病院	191	176.3613	33685
B. 他大学病院または非関連病院	217	229.2673	49751
計	408	205	83436

図表 2.3.4h

登録数の有無に関する検定	
ウィルコクソン順位和検定統計量	-4.58522
有意確率 (両側)	4.54E-06

図表 2.3.4i